



北小の ICT の取り組み

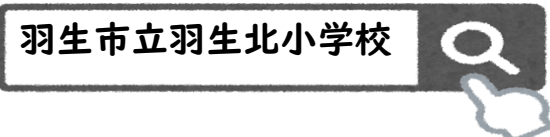
一人一台のタブレットの日常的な活用は当たり前となり、北小では、学習の効率化や学びを深めるための活用に舵を切っています。今後は、埼玉県学力学習状況調査等は、紙ベースではなく、タブレットを活用したデジタルテストに置きかわり、一層社会全体として、情報活用能力の習得が必須となります。そのため、本校では全学年の教育活動と結びつけ、お子さんに生きて働く ICT 活用の推進に努めています。冬休みにおいても、学校と同様の使い方ができるよう御家庭で使い方を相談し、ルールに則り、家庭学習での活用を進めてくださいますようお願いいたします。



〈北小ホームページの紹介〉

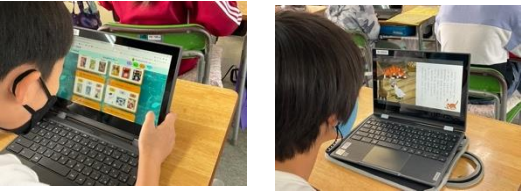
学校の様子を定期的に更新しています。また、図書館からのお知らせや、GIGA スクール構想実現に向けてなどのページを発信しています。北小 HP が地域に開かれた学校に向けた情報発信の場となるよう模索しているところです。冬休みが近いということもあり、今回は、おすすめの使い方の紹介をしていきます。

カラー版は、学校 HP で是非御覧ください。



〈タブレットで図書館を持ち歩こう〉

お家にいながら、23社 2700冊の本が読めます。タブレットが1人1台となり、まったく新しい読書体験で、子供と本の出会いを増やし、読書好きな子供を育てる一助にしたいと考えています。



② プレイグラム

指の置き方から、丁寧にタイピングを教えてください。低学年は慣れる。中高学年では、学習に使うため、素早く打てるように練習します。



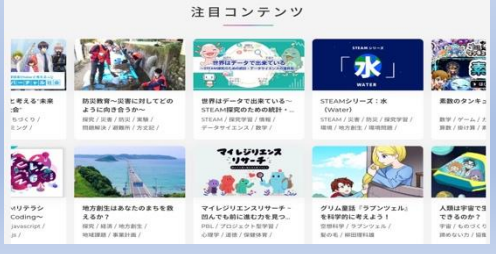
③ インターランド

Google社が作った情報モラルを学べる「インターランド」です。体験を通して、なりすましやフィッシング詐欺など、タブレットを活用する上での大切なことが学べます。



④ STAEM ライブラリ

経済産業省が立ち上げた「未来の教室」のサイトです。一人ひとりの興味に合わせた教材が多数あります。お子さん自身が、ワクワクする物をえらび、マイマイ学習で探究する。長期休みにピッタリの教材です。



⑤ E ライブラリ

お子さんの習熟度に応じて、AIが問題を自動構成します。問題を解くことで学力向上や前学年の学び直しが可能です。また、教師は、学級のつまずきや個人の習熟度把握など、科学的根拠に基づいた指導が可能となります。



〈御家庭で話し合って決めるルール〉

学校としてお願いしたいことは大きく2つです。1つ目は、タブレットを使う時間です。2つ目は、相手を傷つけたり、嫌な思いをさせたりしないために、パソコン上での丁寧な言葉遣いを心がけることや送信する前に一度適切か考えてから投稿するという事です。

本校 HP に、タブレットの約束等が書かれているので、参考にしてください。

約束 (いつでも確認できるようにしてください。)

① 電子書籍 Yomokka!

HP またはお子さんのタブレットに入っている電子書籍読み放題サービスです。お試しキャンペーンのため、2月28日までです。御活用ください。

